

JAXA

ヘリの横方向騒音計測

大樹町多目的航空公園

クレーン2基で国内初

止し、データを収集し

【大樹】独立行政法人「たへり」の騒音計測実験を行った。クレーンにマイクを取り付け、は26日、町多目的航空公園でクレーン2基を使って、発する横方向の騒音を計



騒音測定実験で2基のクレーンの間を飛行するヘリコプター

た。クレーン2基を使った実験は28日まで行われた。また、24日には日本騒音制御工学会騒音伝搬分科会の関係者が同公園に集まり、実験の様子を見学した。同公園では、名城(愛知県)の岡田恭明工学博士のグループが27日まで気象変動と騒音伝搬の影響を調査。独立行政法人産業技術総合研究所(茨城県)が30日から11月1日まで、スピーカーを用いた騒音実験を行う予定。

岡田恭明工学博士のグループが27日まで気象変動と騒音伝搬の影響を調査。独立行政法人産業技術総合研究所(茨城県)が30日から11月1日まで、スピーカーを用いた騒音実験を行う予定。(松村智裕)

JAXAの実験隊は今月19日にヘリコプターを使った騒音実験を開始。音の広がり具合などから、騒音を抑える飛行経路や離着陸法を分析する。JAXAは5月に同公園でクレーン1基を使った同様の実験を実施。JAXA飛行システム技術開発センターの五味広美さんによると、「クレーン2基を使った実験は国内で初めて」という。この日は滑走路を挟み、約120メートルの間隔で据え付けたクレーン2基の地上45メートルと20メートルに集音機器を設置。滑走路上にもマイクを置いた。ヘリコプターがクレーン間を飛び、90度、60度、45度の高さを数回往復。最後はクレーンの間で空中停